

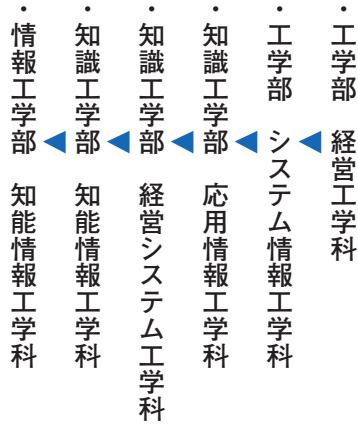
KU KYU KA



工学部 経営工学科から 情報工学科 知能情報工学科へ

学科設立から今日までを振り返る

▼経営工学は、経営上の諸問題を発見して解決するための工学的アプローチを基本としたマネジメント技術である。このマネジメント技術・管理技術を専攻する学科として、経営工学科が1959年（昭和三十四年）に設立された。そして、以後、数回の学科名称変更があった。



▼企業の経営活動「ひと・もの・金・情報」の



経友会会長
S49卒 海老沼 利 光

マネジメント手段（手法）は、最近の情報通信技術の進化により、人口知能、ビッグデータ分析などの新たな手段（手法）が加わっている。知能情報工学科は、新たな手段（手法）として登場したAI、ビッグデータ分析、ロボットなどの人口知能（AI）分野を学科の柱にし、人口知能（AI）分野を専門とする学科教員を採用・補充してゆく予定であるという。社会のニーズに応じて、「データサイエンス」を掲げた新たな学部が次々とでき、人気を集めている。経済産業省の予測では、ビッグデータやAIを開発できる専門技術を持つ「先端IT人材」を2025年までにAIの基礎技術を持つ人材を年間二十五万人育てる目標を掲げている。

経友会／経工会（知湊会）のこれから

▼経友会は、卒業後三十年目を迎えた先輩諸氏の発起により、1989年に発足し、今年で三十二年目を迎えている。学科名称から「経」の字が消えた今日、伝統の「経友会」名称の変更は考えてない。「この名称」については、経友会会員の皆様からのご意見を是非、お聞かせください。また、知能情報工学科卒業生の経友会入会については、3年後の卒業生（現3年生）の意向・要望を聞きたいと考えている。

▼学科名称は、他の複数学科でも名称変更の議論が持ち上がっている。校友会が主体となつて、学科名称と学科同窓会名称の対比を検討すべく二月に「あり方研究会」にて検討を開始した。校友会とも歩調を合わせてゆきたい。学科名称変更に伴い、現4年生が、経営シス

テム工学科の最後の卒業生となる。最後の経工会会長を務めた鈴木翔太さん（現4年生）の労に報いたい。

▼「経工会」は、学科名称変更に応答して、2021年4月に「知湊会」（チソウカイ）に名称変更となった。

この知湊会の初代会長には、大原拓真さん（現在3年生）が就任した。新たに発足した「知湊会」に大いに活発な活動を期待したい。（本号2ページに掲載した大原さん執筆の記事をご一読ください。）

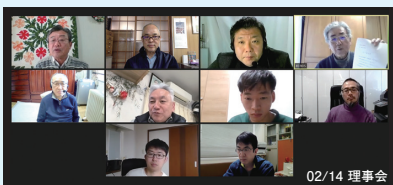
新学科への期待

▼知能情報工学科の志願者数が増加しているとのこと。受験生や保護者の心をつかんでいるのではないだろうか。知能情報工学科の卒業生の就職実績が伴った時、人気はさらに高まるだろう。

二年後に卒業を迎える情報工学科 知能情報工学科第1期生の活躍に期待したい。

コロナ禍での経友会活動

コロナ禍で対面による会議等の開催が難しい中において、経友会では校友会ICT部会の支援を受け、Zoomによる役員会等を実施しています。3月7日には総会を開催しました。



02/14 理事会



03/07 総会

工学部 経営工学科の変遷

学部・学科名の変遷

1959	2002	2007	2009	2019	2020
	工学部		知識工学部		情報工学部
経営工学科 (43年間)	システム情報工学科 (5年間)	応用情報工学科 (2年間)	経営システム工学科 (10年間)		知能情報工学科

年度別在籍学生所属学科

年度	1年生	2年生	3年生	4年生	学科研究会	学科同窓会
2020	情報工学部 知能情報工学科	知識工学部 知能情報工学科	知識工学部 経営システム工学科		経工会	経友会
2021					知湊会	
2022						
2023						
2024						?

情報工学部 知能情報工学科
知識工学部 知能情報工学科
知識工学部 経営システム工学科

情報工学部 知能情報工学科教職員一覧 (2021年3月現在 外部公表情報引用)

氏名	職名	専攻	主な担当科目	着任	主な所属学会
森 博彦	教授	人間情報システム	ヒューマン・インターフェイス、 認知科学、人間工学	1991	日本人間工学会、日本認知科学会、 情報処理学会
穴田 一	講師	人間情報システム	オブジェクト指向プログラミング	1996	人工知能学会、電子情報学会、情報処理学会
岡 誠	講師	人間情報システム	人間工学、プログラミング	2005	人工知能学会、ヒューマンインタフェース学会、 情報処理学会
渡部 和雄	教授	知的経営システム	企業マネジメント、 経営情報システム、電子商取引	2013	経営情報学会
塩本 公平	教授	産業システム	ネットワークアルゴリズム、 光ネットワーク	2019	電子情報通信学会
神野 健哉	教授	産業システム	情報理論、通信ネットワーク、 アルゴリズム設計	2019	電子情報通信学会、情報処理学会、人工知能学会
兼子 毅	講師	大規模データ解析	製品企画、実験計画法、 データサイエンス基礎	1996	日本品質管理学会、電子情報通信学会
田中 宏和	教授	人工知能	脳科学	2020	北米神経科学学会、日本神経科学会、日本神経回路学会
芝 正孝	特任教授	知的経営システム	知的経営システム	2020	
藤田 祐治	技士	情報システム室		2019	電子通信工学科より転入
薩川 宣昭	技士	情報システム室		2001	

「経工会」から「知湊会」へ

COVID-19が未だ世界中で猛威を振るう中、経工会もまた止まる事を知りません。

まず、新入生に向けた履修相談会やQ&Aの作成、オンラインによる新入生同士の懇親会を開催致しました。これにより、多くの新入生の不安を解消することができました。

次に、テーマ「都市大の情報システムを改善する提案をせよ」の下、経工会主催のコンペを開催しました。経工会からも多くの方々にご参加いただき、盛大なイベントとなりました。

私たちの代から学科名称が知能情報工学科となりました。それに伴い、経工会の名称も本年4月より変更致します。新組織名は、「知湊会(ちそうかい)」

「知」は知能の知、「湊」は人やモノが集まる場、つまり、知能の学生がたくさん集まる場という意味があります。

オフラインでの活動に制限がある今、我々経工会は挫折せずに前を向き、オンラインという新しい形で活動をしているのです。



知能情報工学科3年
知湊会会長 大原 拓真



知能情報工学科
教授 田中 宏和

令和二年度より情報工学部 知能情報工学科に着任いたしました田中宏和と申します。

本研究室では脳科学、すなわち生物知能を中心として研究しています。脳科学の理論的アプローチである計算論的神経科学では、行動データと神経活動データをモデル化することで、「脳の情報処理原理は何か」、「脳がどのように情報を表現し処理しているか」、「神経細胞でどのように情報処理問題を解いているか」といった問題に取り組み、脳の理論的理解を目指しています。

近年、人工知能の伸展は著しく、画像・音声・言語処理においては人間同等もしくはそれ以上の成績を収めています。しかし人工知能は人の知性に置き換えられるものではありません。生物知能と人工知能が融合したときに、未来知能ともいえるべき新たな知能が産まれるのではないのでしょうか。未来の知能研究を創り上げるためにも、経友会の皆様と交流を深めてまいりたいと考えております。

情報工学部 知能情報工学科 新任教員のご紹介



知能情報工学科
特任教授 芝 正孝

松崎吉衛先生が退任された後を引き継ぎ、昨年四月にマネジメント系を担当する特任教授として着任しました。

新型コロナウイルスの影響で、着任早々の私にとっては「遠隔授業」など非常にチャレンジングなこと多い一年になりましたが、周りの皆様の暖かいご支援を受け、なんとか乗り越えてくることができました。

私は、これまでのビジネスの世界で、①光を用いた半導体製造・検査設備の開発、②工場のデータ・マネジメントやデジタル・エンジニアリングの研究、③工場の経営改革や業務システムの刷新、④情報・セキュリティに関する戦略立案やグローバル・ガバナンス体制の構築、⑤経営コンサルティングなどに携わってきました。

ここで得られた様々な経験や知識をお伝えすることで、東京都市大学の学生の皆さんが世界で活躍できるようにお手伝いしたいと思っています。最後に、私の趣味は、①旧街道歩き ②ミュージカル観劇 ③飲酒を伴う食歩きです。

どれも自粛を余儀なくされていますので、当面は、担当する授業内容の充実にしっかり専念できそうです(笑)。



学生生活……コロナ禍の中で

知能情報工学科3年 高橋 知里 (写真右)

コロナで世界中が混乱に陥ったのは、ちょうど一年くらい前でしょうか。私たち大学生も非常に大きな影響を受けました。

しかし、私は逆にこれはチャンスだと感じました。「忙しいから出来ない」が通用しなくなりました。怠惰で臆病な自分を、心の鞭でしぼき、英語の勉強や筋トレの継続からインターン、Kaggle、コンテストへの参加まで様々な事に挑戦しました。

そして何よりも、大学の講義に正面から本気で向き合いました。するとどうでしょう、本当に全てがとても楽しいのです。もちろん、心が折れそうになることもあります。そんな時に私を救ってくれるのは、人との繋がりでした。

人と会えないという状況が、改めてそのありがたさに気づかせてくれたのです。これからもきつと何とかなる、そう思えました。



福井支部長

S49卒 荒井 由紀夫

昭和49年経営卒の荒井由紀夫です。東京都市大友会福井支部を平成30年4月に立ち上げ支部長を務めさせていただいております。総会・懇親会の案内を会員の皆様へ送付していますが返事を頂けるのが3割程度で残念ながら参加者は10数名という状況です。支部活動は懇親会やランチ会といった比較的参加し易い内容が中心になっています。しかしながら、平成15年卒業の会員にも参加頂いています。そういう意味では、幅広い年代の集まりになって来ています。これは、福井支部の大きな特徴の一つだと思います。これからも、活動の輪を広げていきたいと考えています。

ところで、私が住んでいる勝山市には「福井県立恐竜博物館」があります。年間百万人を超える来場者が全国から見えています。博物館内の展示は迫力満点で2時間位では全てを周り切れないようです。また、屋外にある恐竜パーク

は動く恐竜が多数展示されていて、その大きな鳴き声は我が家でも聞こえるくらいです。

化石の発掘体験も子供たちには大人気です。付き添いの大人の方も真剣に石を叩いています。私も何度か挑戦しましたが葉っぱの化石しか見つけれませんでした。2万回に1個くらいの確率で恐竜の化石を見つけることが出来るようです。是非とも福井の方に出かけて頂いて、化石発掘体験に挑戦してみてください。

現在は、新型コロナウイルス対策で事前予約制となっています。詳細はホームページを確認ください。

ホワイトザウルス



福井県立恐竜博物館

全国で活躍する経友会会員



富山支部長

S56卒 鹿熊 裕二

昭和56年経営工学科卒業の鹿熊裕二です。平成15年から富山支部長を務めさせていただいております。富山支部は大変長い歴史が有り、先輩たちが支部の設立・発展に大変尽力されたことを聞いております。

中でも、私が富山に帰省して間もなくの平成4年に地方博覧会の第一回目として開催されたジャパンエキスポとやまで、当時、武蔵工業大学の花形であった水素自動車を博覧会に呼び、試乗会を開催いたしました。そのお世話役としての、支部会員不足を補うため、会長・幹事長が名簿を基に全会員に連絡を取り会員増強を図ったと聞きしております。その礎の基に現在の支部があることに感謝しています。

富山支部の活動は年1回の総会が主な事業となります。毎年、二十数名が集まり懇親を深めています。又、毎年5月には東京都内の理工系6大学によるOBゴルフ大会を開いております。一昨年まで31回開催され他校の皆様との懇親も深めています。

さて、昨年来からのコロナウイルス感染による影響で、校友会活動は元より仕事や生活が大きく変化しています。私は温泉旅館の経営をいたしており、コロナの影響を諸に受けている業種といえます。昨年は一回目の緊急事態宣言後の4月中旬から6月中旬まで休業。その後のGO TOキャンペーンによるお客様の増加。そして、GO TOの一時中止から第二次の緊急事態宣言により再度の長期休暇とジェットコースターのような1年でした。現在はコロナ禍後を見据え、客室や設備等のリニューールを行っています。

校友会活動においても支部活動はこの1年休止状態です。総会等はリモートでのZOOM会議の予定、と私の身の回りにおいても大きく変化を感じる1年であったと思いますし、今後もしも色々な変化を受け入れていかなければいけないと感じております。一日も早くコロナ感染が終息し、会員の皆が一堂に会し、安心して懇親の場が開ける日を待ち望んでいます。

訃報

谷井 克則教授 七十六歳

令和三年一月二日逝去

伊東 保昌技士 六十五歳

令和元年九月二十三日逝去

ここに謹んでお知らせし、ご冥福をお祈りいたします。